

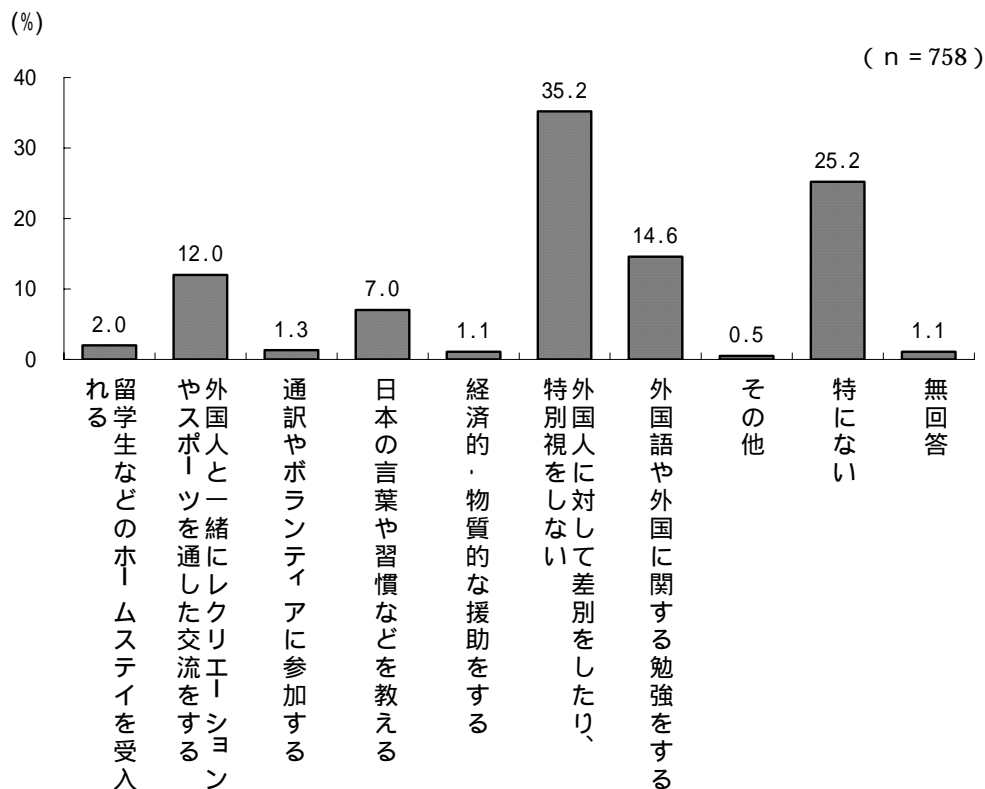
8 . 国際化社会

(1) 国際交流における期待

「外国人に対して差別をしたり、特別視をしない」が3割台半ば

問 19 今後、外国との交流がすすむ中で、あなたは、どのようなことに参加したり、自分でしたいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

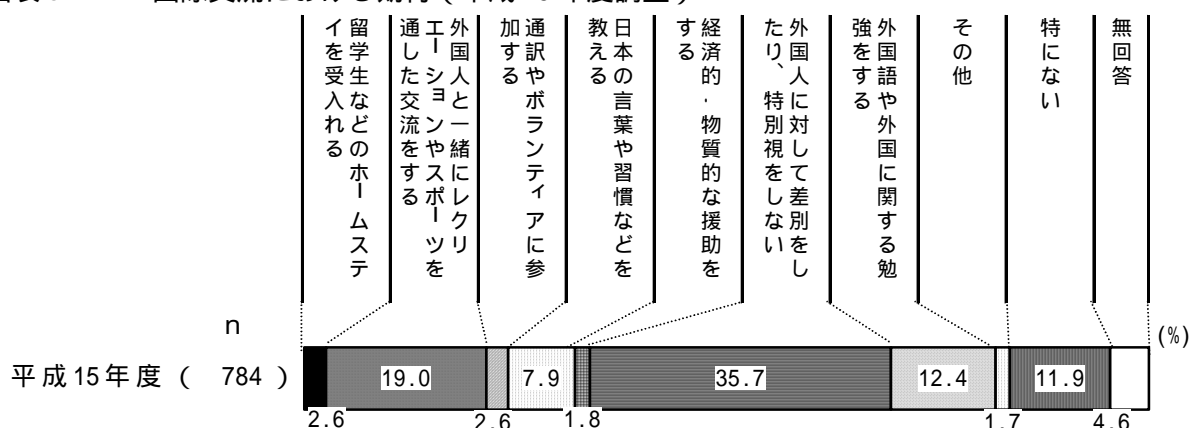
< 図表 8 - 1 > 国際交流における期待



今後、外国との交流がすすむ中で、どのようなことができると思うか尋ねたところ、「外国人に対して差別をしたり、特別視をしない」(35.2%) が最も多く3割台半ばとなっている。以下、「外国語や外国に関する勉強をする」(14.6%) 「外国人と一緒にレクリエーションやスポーツを通じた交流をする」(12.0%) と続く。(図表 8 - 1)

平成 15 年度の調査結果と比較すると、「外国人と一緒にレクリエーションやスポーツを通じた交流をする」の割合が減少している。(図表 8 - 2)

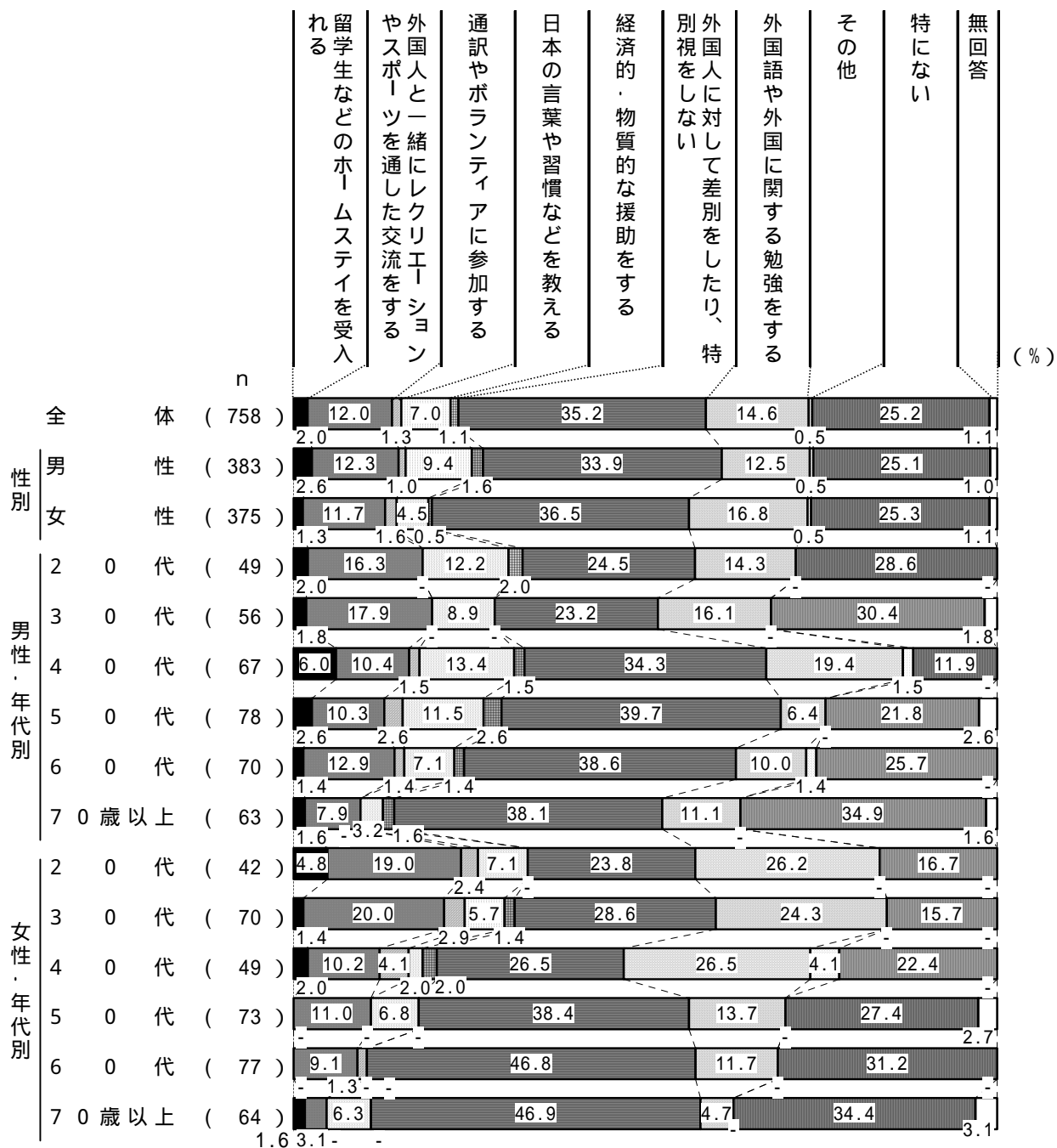
< 図表 8 - 2 > 国際交流における期待 (平成 15 年度調査)



性別でみると、特に大きな差異はみられない。(図表8-3)

性・年代別では、「外国人に対して差別をしたり、特別視をしない」は、男女ともに高年齢層に、「外国語や外国に関する勉強をする」は、男女ともに若年齢層に多い傾向がある。(図表8-3)

<図表8-3> 国際交流における期待 / 性別、性・年代別

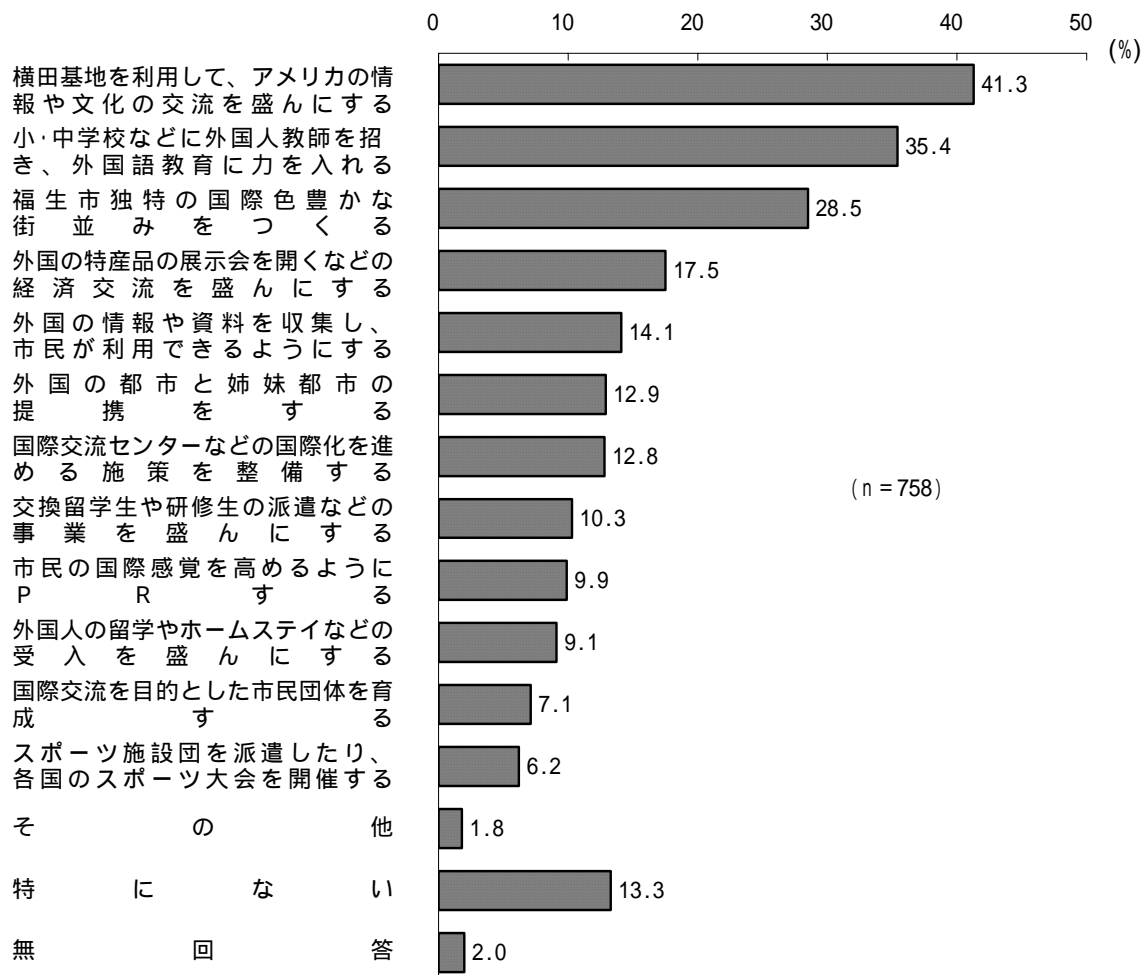


(2) 国際化を進めていく上での重点

「横田基地を利用して、アメリカの情報や文化の交流を盛んにする」が4割強

問20 市が国際化を進めていく上で、特に力を入れるべきだと思うことを、次の中から3つまで選んでください。

<図表8-4> 国際化を進めていく上での重点(複数回答)



国際化を進めていく上で、重点をおくべきことについて尋ねたところ、「横田基地を利用して、アメリカの情報や文化の交流を盛んにする」(41.3%)の割合が最も高く4割強、次いで、「小・中学校などに外国人教師を招き、外国語教育に力を入れる」(35.4%)が3割台半ば、「福生市独特の国際色豊かなまち並みをつくる」(28.5%)が3割弱で高くなっている。以下、「外国の特産品の展示会を開くなどの経済交流を盛んにする」(17.5%)、「外国の情報や資料を収集し、市民が利用できるようにする」(14.1%)、「外国の都市と姉妹都市の提携をする」(12.9%)、「国際交流センターなどの国際化を進める施策を整備する」(12.8%)と続く。(図表8-4)

平成 15 年度の調査結果と比較すると、「福生市独特の国際色豊かなまち並みをつくる」は前回調査より割合が高くなっているが、「小・中学校などに外国人教師を招き、外国語教育に力を入れる」、「交換留学生や研修センターなどの国際化を進める施策を整備する」などは前回調査より割合が低い。

(図表 8 - 5)

< 図表 8 - 5 > 国際化を進めていく上での重点 (平成 15 年度調査)

n	横田基地を利用して、アメリカの情報や文化の交流を盛んにする	小・中学校などに外国人教師を招き、外国語教育に力を入れる	福生市独特の国際色豊かな街並みをつくる	外国の情報や資料を収集し、市民が利用できるようにする	国際交流センターなどの国際化を進める施策を整備する	交換留学生や研修生の派遣などの事業を盛んにする	外国の都市と姉妹都市の提携をする	外国の特産品の展示会を開くなどの経済交流を盛んにする	外国人の留学やホームステイなどの受入を盛んにする	国のスポーツ施設団を派遣したり、各国のスポーツ大会を開催する	市民の国際感覚を高めるようにPRする	国際交流を目的とした市民団体を育成する	その他	特にない
784	46.8	43.8	22.8	16.8	16.2	15.9	14.5	12.6	10.8	10.8	9.1	8.0	2.3	7.9

(%)

上位6項目を性別で見ると、「小・中学校などに外国人教師を招き、外国語教育に力を入れる」の割合は、女性（39.7%）の方が男性（31.1%）より高くなっている。（図表8 - 6）

性・年代別では、「横田基地を利用して、アメリカの情報や文化の交流を盛んにする」は、男女とも30代で（男性58.9%、女性54.3%）、「小・中学校などに外国人教師を招き、外国語教育に力を入れる」は、女性の30代（55.7%）で割合が高くなっており半数を超えている。

（図表8 - 6）

<図表8 - 6> 国際化を進めていく上での重点/性別、性・年代別（上位6項目）

